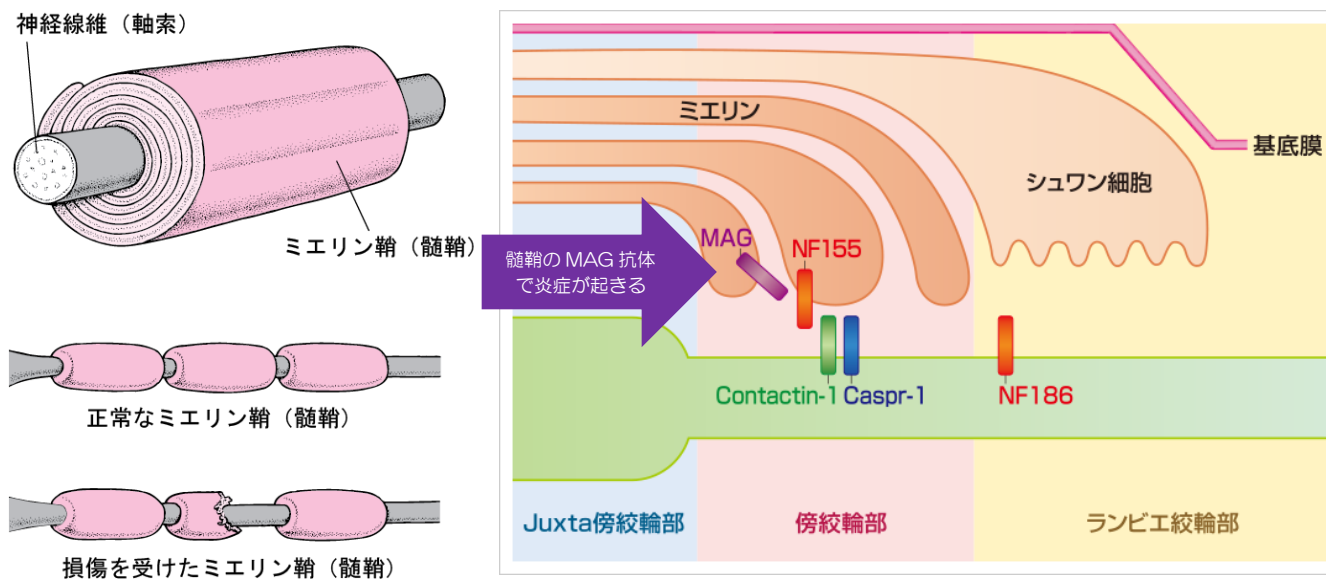


MAG 抗体陽性ニューロパチー

緩徐に進行する末梢神経障害で、四肢の先にしびれ感と筋力低下が出現します。中年以降の男性に多いです。MAG は末梢神経の髄鞘（電線のカバーに相当する部分）を構成しており、**MAG 抗体**によって髄鞘が障害されます。悪性腫瘍を合併している場合があり、血液検査などで定期的に検査しておく必要があります。

慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチーCIDP に準じて検査や治療を行います。治療に反応しにくいことが多いです。免疫グロブリン大量療法や血漿浄化療法（単純血漿交換）が治療ガイドラインで推奨されており、当院でも部分的な改善の得られた例を経験しています。リツキシマブという抗体産生を抑える治療薬も考慮されますが、保険適応はありません。



図・末梢有髄神経線維の構造（左・MSD マニュアル家庭版，右・
https://www.jbpo.or.jp/med/jb_square/cidp/expert/ex02/01.php より転載）